



四日市の
魅力発見

伝統・ にぎわいの祭り

地域のつながりが生み出すにぎわい

四日市市には古くから伝わる祭り・伝統行事が多くあり、それぞれの地域で大切に守られ、受け継がれています。これらの行事は地域の誇り・絆の証であるとともに、市内外からの集客によるにぎわいを創出しています。



岩戸山



甕破り (かめわり)



菅公



東日野・西日野の大念仏 (県指定無形民俗文化財)
直径約2m、長さ3m余りの大太鼓と、直径約1mの大型の鉦(かね)、ほら貝、笛などを使って、毎年8月13日と8月15日に行われます。13日は東日野の西覚寺から西日野の顕正寺へ、15日は西日野の日野神社から東日野の西覚寺へ練り込みます。



鯨船山車「明神丸」
(県指定有形民俗文化財)



鳥出神社の鯨船行事(国指定重要無形民俗文化財・ユネスコ無形文化遺産)

豪華な彫刻と幕で飾られた鯨船を用いた模擬捕鯨行事。毎年8月14日と15日に鳥出神社の祭礼として行われます。



大入道山車
(県指定有形民俗文化財)
台座の上に立ち、首を伸ばせば全高9mにもなる日本一大きなからくり人形。「大四日市まつり」や諏訪神社の例祭「四日市祭」に登場し、観客の目を楽しませています。



椿岸神社獅子舞 (市指定無形民俗文化財)



お諏訪おどり (市指定無形民俗文化財)



つんつくおどり (市指定無形民俗文化財)



富田一色けんか祭り



富田の石取祭 (市指定無形民俗文化財)